

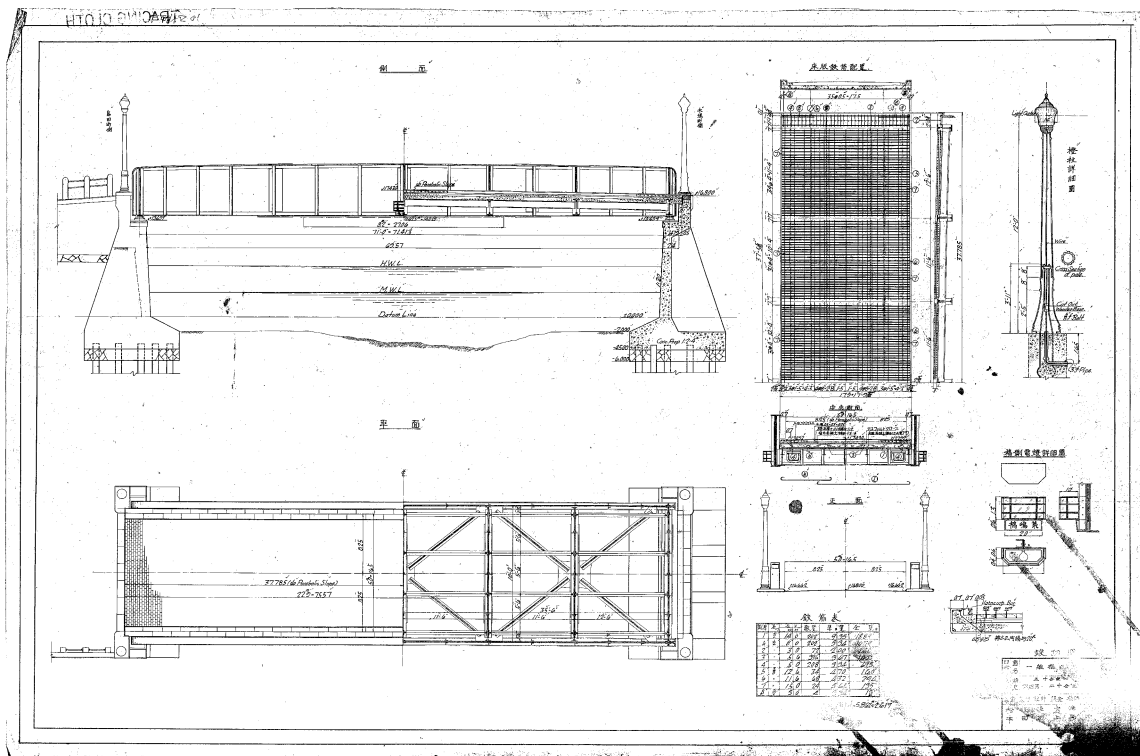
江東区指定文化財紹介

しんさいふっこうきょうりょうずめん 震災復興橋梁図面 901枚

しんさいふっこうきょうりょう かんとうだいしんさいちよくご たいしょう しょうわ ていとふっこう
震災復興橋梁は、関東大震災直後の大正12年(1923)から昭和5年(1930)にかけて帝都復興
じぎょう いっかん かせつ きょうりょう かせつ
事業の一環として架設された橋梁です。江東区域では208橋が架設され、そのうち132橋分の図
のこ きさい じょうほう けんせつけいかく せつけい とうじ まちな
面が残されています。図面に記載されている情報から、建設計画・設計の考え方・当時の町並み・
はし いししょう へいせい こうとうくしていゆうけいぶんかざい れきしりょう
橋の意匠などがうかがえます。これらの図面は、平成26年度に江東区指定有形文化財（歴史資料）
に指定されました。



てんじ
 展示した図面は、^{つきしまばし}築島橋（木場 2）の^{いっばんこうぞう ず}一般構造図です。^{つきしまばし}築島橋の場合、この図面を含めて6枚の^{ふく}図面が残されています。^{つきしまばし}築島橋は、^{しょうわ}昭和5年(1930)6月に^{おおしまがわひがしせん}大島川東支川に^{かせつ}架設されました。^{だいきぼ}大規模な
^{かいしゅう}改修は^{おこな}行われず、^{げんざい}現在まで残されています。



いっばんこうぞう ず
一般構造図

縮 尺：1/50、詳細図 1/20
 年月日：昭和3年11月
 寸 法：縦 62.9cm×横 94.6cm
 紙 質：リネン紙

現在の築島橋



撮影方向：木場親水公園より南方向



撮影方向：築島橋東詰より西方向



しんさいふっこうきょうりょう げんじょう 震災復興橋梁の現状

しんさいふっこうきょうりょう かせん ほり う た たいようねんすう たいしんじょう もんだい てつきよ か か
震災復興橋梁は、河川や堀の埋め立て、耐用年数や耐震上の問題などから、撤去・架け替え

ずいじ かせつとうしょ すがた きょうりょう ねんねんげんしょう けんせつ
が随時行われています。架設当初の姿を残している橋梁は年々減少しているため、建設当初の

こうぞう はんめい しんさいふっこうきょうりょうずめん きちょう しりょう
構造が判明する震災復興橋梁図面は貴重な資料です。